

作曲コース

アタマの中に
ある音を
カタチにする技術を
身に付けます。

作曲コースは、音によって
自分を表現したい人のための「創造の場」です。
卒業後も絶えず創造的に生きていく力を備え、
様々な音楽ジャンルの作編曲ニーズに応える知性と
技術を身に付けた、即戦力として
活躍できる人材の育成を目指します。

Pick up



楽曲分析

古典派やロマン派の作品を中心に分析し、
楽曲や和声の構造を学習。様々な楽器の
基礎知識を修得することで作曲のレベル
を高めます。



デスクトップ・ ミュージック演習

今や音楽制作の現場において、
DTM(デスクトップミュージック)スキルは必須と言われ
ています。選択科目で履修すべ
ば最先端のDTMソフトを使っ
た授業が受けられます。時代の
ニーズに応えられる人材育成
をカリキュラムに取り入れて
います。

作曲

個人レッスンにより、作編
曲で求められる知識や技術
を基礎から学習することが
できます。また、2年次から
はより高度な技術を学び、
作曲した楽曲の精度を高め
ます。

学びのポイント

Point 1
作編曲に必要な音楽理論と
スキルを身に付けます。

Point 2
古典派の作品を中心に楽曲を分析し、
構造を学びます。あわせて様々な
楽器に関する基本的な知識を広げます。

Point 3
充実した施設を利用して、
最先端のPC音楽ソフトに
慣れ親しみます。

Student's voice

卒業後に向けた準備を
着々と進行中。



岸本 大松 さん
音楽科/作曲コース/1年
京都府立網野高等学校 出身

以前はDTMを使った作曲を自己流で楽しんで
いました。しかし結局のところ音楽の根幹を成
しているのは、和声や楽曲の分析能力といった
極めて基本的な要素であることを痛感。基礎か
ら学ぼうと音大への進学を決意しました。入学
後は作曲のプロセスが180度転換！ソフトに
頼るのではなく、自分の頭で知識を使って作れ
るようになったのは大きな進歩です。将来は、
映像や音楽などのデジタルコンテンツを自在
に操るマルチメディアクリエイターとして生
きていきたいと思っています。

Faculty's voice

創作物を「作品」にするための
メソッドを伝授。



音楽科/作曲コース
高 昌帥 助教

一口に作曲といっても、十人いれば十通りの音の世界
があります。その世界個性は大切にしつつ、あらゆる
事に通底する基礎はしっかりと習得すべく、まずは
ハーモニーについて徹底的に学びます。今まで自己流
で作ってきた人や、メロディは浮かんでくるものの作
品としての仕上げ方がわからなかった人も、理論を学
ぶことでより表現に広がり深みが増します。本学
は、音楽家と音楽家の卵が西日本で一番多い大学。多
くの先輩とライバルに囲まれ、もまれながら学ぶ日々
には絶大な意義があります。ここでの人脈は卒業後
にも生きてきますから、ぜひ専攻を問わず、多くの人
と交流を深めてほしいですね。